

zoo

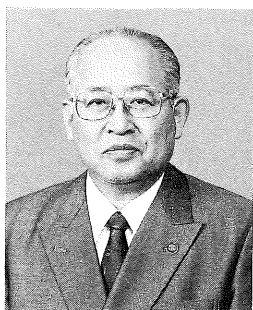
かみね



20号

日立市かみね動物園

1992



「動物」が生きるということ

日立市長 飯山利雄

動物を書いた本が好きで、時々ページをめくる。私の書棚には、宮地伝三郎、中川志郎、亀井一成、増井光子、更に戸川幸夫、昆虫の奥本大三郎などの各氏の著が並び、本の中から数々の動物が登場する。昔、小学生の頃だったと思うが、本不足の時代、「シートンの動物記」をいただき、ドキドキしながら読んだことがある。

幼い頃と今とでは、私の動物に対する興味の中味も当然ちがうが、動物の生態、生きる姿、親子の愛情など極めて教えられる点が多い。生態系の中では同じ哺乳類の一員にすぎない人間の、余りに自己中心的な環境破壊や魂を忘れた育児の混沌をみるにつけ、もっと動物を大事にし、逆に動物たちから教えられるものに素直でありたいと思うのである。

勿論、本を読むだけで動物のことがわかる筈はない。その点動物園では目のあたり動物に接することができる。生きて、動いて、様々の行動を示す動物である。その姿は、本来野性のものであっても、園内では、人工保護という枠の中に入った動物であるが、動物園側の知恵工夫で、特に子供たちの動物への理解をとおして、生命の大切さや自然の尊さを実感することができる。

それにしても、子供たちの動物に対する「可愛い」、「ほほえましい」、「動物ダーイ好き」という感情のうらには、動物のごく表面の姿、よそいきのしぐさのみがもてはやされている感じがしないでもない。生命を保つためには、眼にみえない苦勞がうらにかくれている。飼料の準備、檻の清掃、排泄物の始末、病気の予防・治療など大変なうらかたに支えられて、はじめて動物の愛らしい表情や逞しい姿に接することができるのである。動物との会話やコミュニケーションが最も豊かなのも飼育する皆さんの筈である。いわば化粧済みのきれいな姿だけでなく、これを支える飼育の現場もまたかけがえのない動物園の教育現場ではないだろうか。その教育現場或いは決してきれいではない汚れ役の仕事を市民や来園者に理解し、協力してもらうことも、園の大事な仕事ではないだろうか。そのために、飼育担当の皆さん、動物園の皆さん、もっと本音を発言してください。

〈表紙説明〉 アジアゾウ

分類：長鼻目 ソウ科

分布：インド 東南アジア

陸上最大の動物ゾウは、力が強いばかりでなく利口なので、1,000年も前から馴らして、物を運ばせたり、人が乗ったりしています。

長い鼻は鼻をかぐだけでなく、物をつかむことも出来るので、鼻と手の両方の役目をし、時には敵を倒す武器にもなります。

野生のものは群れで生活し、主に早朝と夕暮れに活動し、草や木の葉、竹などを食べています。

《もくじ》

- 20号特別寄稿……………(2)
- 動物園の顔(チリ-フラミンゴ) ……(3)
- 20号を記念して……………(4)
- かみね動物園を訪問して ……(5)
- 夜の動物園……………(6)
- 動物園ニュース……………(8)
- 質問に答えて……………(10)
- ア・ラ・カルト……………(11)

動物園の顔



チリーフラミンゴ

(フラミンゴ目フラミンゴ科)

首と足が長く、淡赤色をした美しい鳥です。
分布はペルーからチリー南端やブラジル南部、アルゼンチン等の南アメリカ。

産卵期は5～8月で卵の大きさはニワトリの約2倍の100gぐらいあり、卵黄は赤色です。卵はオス、メス交代で温め、27～31日でヒナ

がふ化します。ヒナのうちは、体は灰色で、くちばしもまっすぐですが、成長するにしたがい体の色は淡い赤色に変わり、くちばしも独特のくの字形に曲がってきます。

動物園での餌

○フラミンゴ用配合固形飼料(ペレット)

20号を記念して



財団法人
日立市公園協会長 吉田 稔

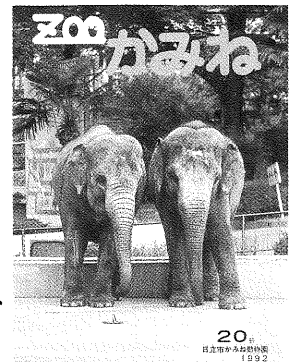
動物園機関誌「ZOOかみね」20号発行お
めでございます。

顧みますと、昭和56年4月、子どもたちの
教育教材の一つとしてスタートした機関誌第
1号発行から、実にさまざまな人と動物のふれ
あい、子どもたちとの質疑応答、飼育研究
の記録など充実した内容を取り上げ、今回の
20号発行に至ったことは、誠に輝かしい功績
であります。また、毎年夏休みに行われる体
験学習「サマースクール」をはじめとしたも
ろもろの企画は、子どもたちと動物とのふれ
あいが、稀薄になりつつある今日では画期的
なものであり、機関誌とともにこれから先も
長く続くことを希望します。

私ども協会は、かみね公園、動物園事業の
後援を目的に昭和33年に発足し、昭和45年に

財団として認可され、動物園と共に歩みなが
ら今日に至っております。動物園の売改札及
び園内清掃業務の受託から始まり、売店、食堂
及び遊戯施設の営業、さらに市民プール、ホ
リゾンかみねの受託と公益事業を中心に拡大
を図ってまいりました。このような中で今日
のような事業の一端を担えたことは喜ばしい
限りであります。

今後も、30号、50号と新しい動物園づくり
に向けて、子ども
たちから問いかけられ
る。また、他の動物園
の参考になる機関誌
として発行できるこ
とを心より期待して、
祝辞といたします。



日立市街を一望 !!

夜景をみながら おいしい食事 !!

レストラン **モンターニュ かみね**

〒317 日立市宮田町5-3362-4

TEL 0294(24)0737

FAX 0294(24)5753

かみね動物園を訪問して

9月21日、私たち日立市のAET（英語指導助手）は、動物園を訪問させて頂きました。見学コースの初めは、象の飼育舎でした。勇気をだして象に直接餌を与え、象の長い鼻に触れました。このように象に真近かに接した経験は今までにありませんでした。

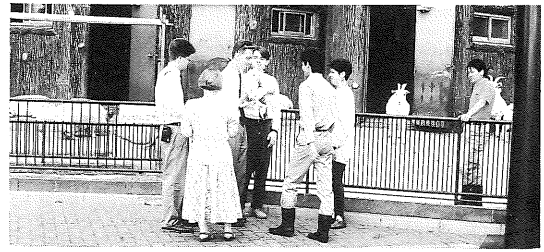
訪問で特にすばらしかったことは、人なつこいチンパンジーに接し、生まれて一日目の子山羊を抱き、生きている大蛇を首に巻いたことでした。そしてまた、キリンに餌を与えたり、サルに餌を投げ与えて楽しんだり、数多くの興味ある動物に接することができました。



キリンの前で記念撮影

かみね動物園は、とてもよく整備され、清潔であり、深い思いやりのある職員によって運営されていると感じました。開園して35年と聞いていますが、その魅力を十分に持ち続けていると思います。日立市は近代都市に発展しています。かみね動物園も日立市にふさわしい動物園になることを望んでいます。

訪問の機会を与えてくださいましたかみね



ふれあい動物広場で子ヤギを抱く

動物園の職員の皆様にお礼を申し上げますと共に、日立市を別の角度から紹介していただきありがとうございます。

日立市教育委員会指導課

英語指導助手

ジョン マーティーン

キャサリン ブランド

ジェフリー リー

カールトン コールトレン

ミガン エドミーズ

Our Day at Kamine Zoo

On September 21, 1992, we, the Hitachi City AETs (Assistant English Teachers), were treated to a private tour of Kamine Zoo. Our day started with a visit to the elephant's enclosure where we were encouraged to feed and touch the leathery trunk of the elephant. This was our first chance to get this close to an elephant.

The highlights of the day included being accompanied by a friendly chimpanzee, holding a one-day old goat, and having live boa constrictors draped around our necks. We also enjoyed feeding the gittaffes, throwing tidbits to the monkeys, and having hands-on experiences with many other interesting animals.

We felt that Kamine Zoo was well-maintained, clean, and operated by an extremely courteous and caring staff. Although the zoo is 35 years old, it still retains its charm. Hopefully, as Hitachi progresses into a modern city, Kamine Zoo will follow suit.

We would like to thank Kamine Zoo and their staff for their time and effort in showing us another aspect of Hitachi City.



高度な技術！ より美しく！！ より早く！！
各種写真撮影・カラー自動現像機設置店



レインボースタジオ

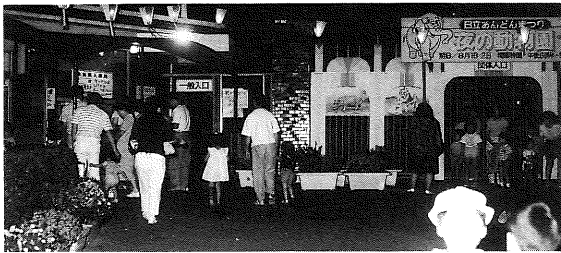
いま、集合写真が好評！！

〒317 日立市神峰町2-13-13
☎0294 (21) 6600 FAX 兼用

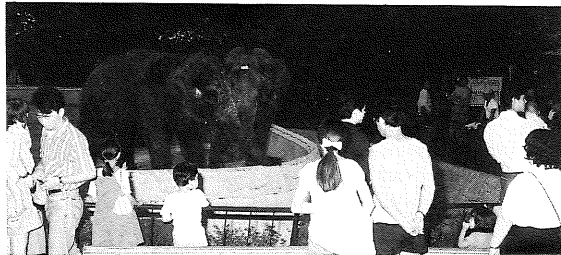
ビデオ撮影・団体・広告・婚礼写真
スピード写真・写真材料・D P E

夜の動物園

開園30周年の記念行事として初めて行なった“夜の動物園”は好評なため、その後も続けて行なっています。昨年からは、“白立あんどんまつり”のオープニングに合わせ8月1、2日の両日に開催するようになりました。



今年の初日は、ときおり雨が降るあいにくの天気でしたが、2日目は良い天気となり納涼や夜の動物観察に、たくさんの家族連れやカップルでにぎわいを見せ、“夜の動物園”もあんどんまつりの人気行事として、定着したように思えます。紙面をとおして夜の動物園の様子を再現してみましょう。

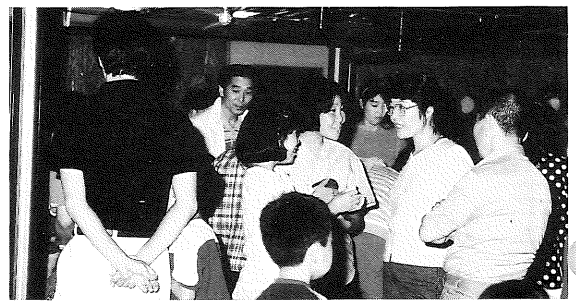


日が暮れかかった6時半が開園です。大人200円、子供50円（今年の場合）を払って、門をくぐると、ボンヤリとライトアップされた中に2つの動く岩を見つけることができます。アジアルゾウのミネコとスズコです。のっしのっしと音もなく歩いています。夜の気配が、昼とは違った姿を写し出し、ファンタスティックな気持ちになってきます。いつもなら部屋で牧草やサツマイモをムシャムシャ食べている時間ですが、2頭も夏の夜を楽しんでいるようでした。

次にお目見えするのがラクダの仲間の子羊と

こげ茶色の毛でおおわれた筋骨隆々のアメリカバイソンです。ラマは、長い首の上にちょこんとのった頭を左右に動かし、耳をピンと立てています。大きな目でときおりこちらを見やりつつ口を横にモゴモゴと動かし噛みかえしをしています。アメリカバイソンの方は、すっかり暗闇の一部と化し、夜の中に溶け込んでしまったようです。ギョロとした目でこちらを見ました。足がすくみます。突進してこないうちに次に進むことにしましょう。

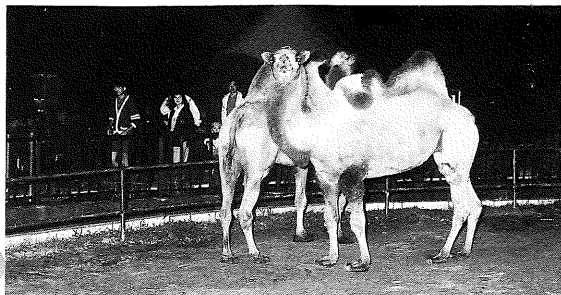
こども園の虹のアーチをくぐると、タヌキが「クーン」と鳴きました。キツネが跳びはね、しっぽを揺らせています。ずんぐりしたアナグマは、体を左右にゆすって動き回り、ハクビシンは金網に登って何かを見つめています。みんな、日立市にもいる動物たちです。昼間は眠っていることが多くても夜は活発に動いています。



さて、ふれあい動物広場です。ここは夜も人でいっぱいです。ウサギ、テンジクネズミ、ヒヨコ、カメ、ニシキヘビに触ることができます。動物の目を見て、動物の気持ちを考えてふれあってみてください。動物たちの息づかいが伝わってくるでしょう。子供も大人も、やさしい顔になっています。日常の忙しさを忘れ、人間性を素直に開放してくれるところのようです。

ふれあい動物広場をはなれ、坂を上がるとゴマフアザラシがいます。夏の夜、水中に遊ぶ姿は、とても涼しそうでうらやましくなります。

水面に顔だけだし、まん丸の目をパチッと開けてこちらの様子を見ています。つづいて、フタコブラクダがいます。夜の光の中にたたずんでいる姿はとてもゆったりとして見えます。自然と肩の力が抜け、止まった時間の中で、その場が広大な砂漠のように思えてくるから不思議です。ロマンティックな夜になりそうです。



園路をまた少し行くと、シマハイエナが首を下げ、エサを探してうろついています。その隣では、2頭のヒョウが身を低くして、目を輝かしています。長い尾をくねらせこちらを狙っているようです。「サッ！」一瞬、バネが弾けたように跳びかかってきました。しなやかに動く優美な肢体にはただ見とれてしまいます。夜行性の両者にとって、まさに活動の時間です。



このあとは、ニホンジカ、タヌキ、アライグマ、ツキノワグマ、サル類と続きます。シカは、牧草の上に座って体を休めています。ツキノワグマは、丸い体をもたれかけて眠そうです。タヌキは再登場ですが、ここには20頭以上がいます。一頭一頭が個性豊かでとても面白いです。アライグマも夜行性です。とぼけた顔でスタスタと歩きまわっています。

サルたちはというと、眠いのも忘れて相変わらず愛敬をふりまいています。お客さんも立ち

止まってやり取りを楽しんでいます。



続いてゴリラ、チンパンジーです。彼らは寢室にいます。いつものリラックスタイムをじゃまされて、少しご機嫌なめめのようなようです。食べかけのリンゴを投げつけてきました。できるだけそつと観察することにしましょう。

北園に来ました。ここにはカバの親子がいます。昼間は水中にいることの多いカバたちも今夜は陸に上がってくれました。全身をあらわしたカバは、大迫力です。野生では夜の間に30kmも歩くものがあるようです。大きな体のカバも、安全な夜が活動の時間で、陸に上がって草を食べるのです。しかし、昼も安全な動物園ではいつもなら夜は眠りの時間です。



いかがでしたか。“夜の動物園”はここでおしまいです。閉園は9時、ゆつくりご覧になれたことと思います。

“夜の動物園”は全てが手づくりです。準備には二週間ほど前から職員全員が当たっています。木に登って照明を取りつけるなど、慣れない作業もありますが、一生懸命やっています。当日は園内に散らばって質問にも答えています。夏の夜のたった二日の開園ですが、来年もぜひいらしてください。



動物園

おもできごと 主な出来事

(H4.3.12~H4.10.9)

H4. 3月12日 機関誌「ZOOかみね」. 読売新聞の
取材を受ける 園内で野生キツネ捕獲



16日 写真家 佐藤あきら氏来園 クロサイ.
ゴマフアザラシ等 撮影

29日 ロバ (オス.メス) 削蹄

4月1日 新採職員 2名配属される
ライオン1頭 (オス) 東京都多摩動
物公園より寄贈される
日立さくらまつり始まる(16日まで)

2日 シマハイエナ 3頭(オス1.メス2)
宇都宮動物園より寄贈される

5日 ワオキツネザル 1頭 (オス) 繁殖

25日 サル山のニホンザル 今年最初の1頭
繁殖.(9月1日 最終繁殖確認 16頭)

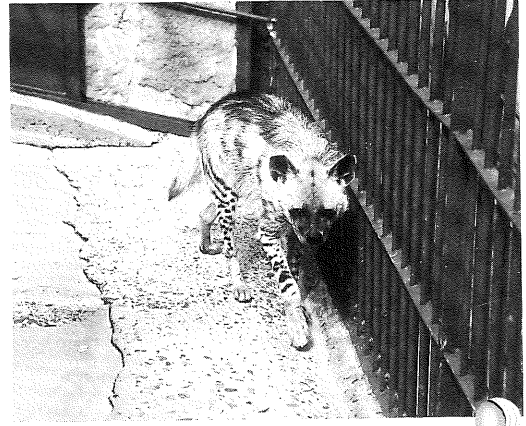
26日 チンパンジー (愛称:ゴンペー) 交
通安全キャンペーンに参加する

5月3~5日 動物園ちびっこまつり開催する

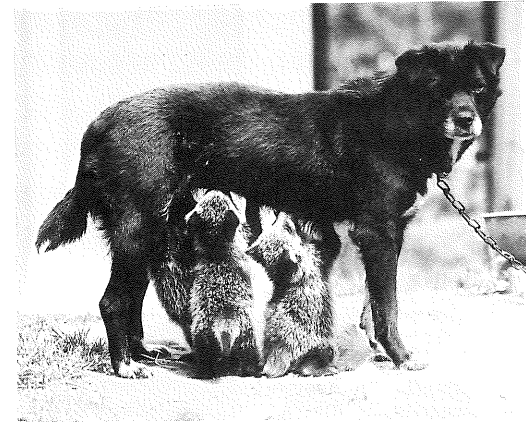
6日 チンパンジー (愛称:ヤヨイ) 1頭
(オス.愛称:ユウ) 繁殖 4回出産
で5頭目

31日 野生ニホンザルが市内に出没 電話
が殺到する

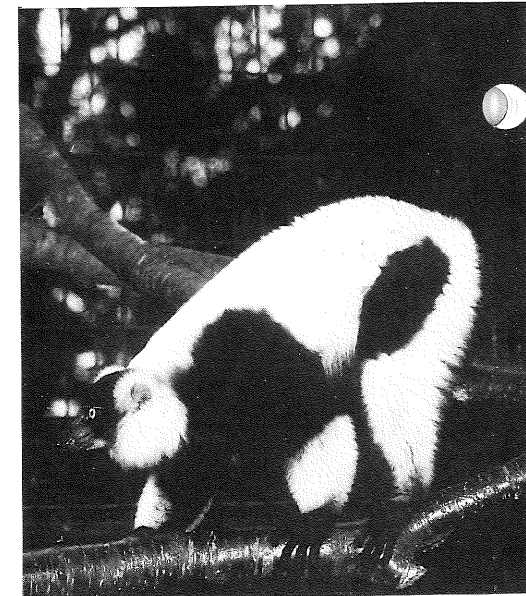
タヌキの子 3頭(オス2.メス1)
保護. 名犬「クロ」が乳母犬となっ



シマハイエナが入園しました



タヌキの子を育てる名犬「クロ」

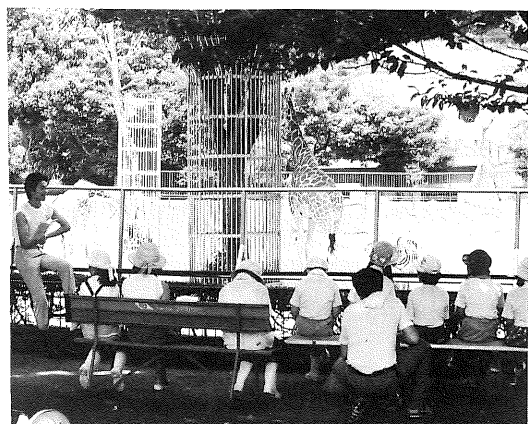


エリマキキツネザルが入園しました





ニュース



サマースクール説明を熱心に聞いている



ゴクウ「反核平和の火」に協力



当園のニューフェース

—かみね公園月曜日休園のお知らせ—

毎週月曜（ただし4月・8月の繁忙期を除く）及び元日が休園日になります。なお、月曜日が祝日のときは、火曜日を振り替え休園日とします。

おも 主 な 出 来 事

(H4.3.12~H4.10.9)

そだ て 育 てる

- 6月7日 日立市子ども会育成連合会主催による写生大会行われる
- 15日 ニホンザル（愛称：ゴクウ）「反核平和の火」リレーに参加
- 29日 エリマキツネザル 2頭（オス、愛称：ギギ、メス、愛称：ステップ）千葉県市川市動植物園よりブリーディングローン*で借り受ける
ヒツジ（サフォーク）2頭（メス）（出）
ブリードック 3頭（オス1、メス2）（入）
- 7月1日 ポニー 2頭 削蹄
- 21~23日 サマースクール開校（3日間）IBS（茨城放送）取材
- 26日 ヤギ 1頭（オス）繁殖
- 31日 ラマ 1頭（オス）繁殖
- 8月1~2日 夜の動物園開園，好評を博す（NHK取材）
- 17日 コモンマーモセット 1頭（メス）
闘争により右後足怪我，治療のため獣医室に隔離
- 9月2日 ヤクシカ 1頭（オス）繁殖
- 13日 ミーアキャット 2頭 埼玉県狭山市智光山公園こども動物園より寄贈される
- 27日 ホンドギツネ保護受託（交通事故）
- 10月9日 サバンナモンキー 1頭 繁殖

*ブリーディングローンとは、希少動物繁殖のための貸し借り（生まれた子どもを返す）



質問に答えて

ネコのノミを取る方法を教えてください。
上村 雅子(学生)

ノミにはネコノミ、イヌノミ、ヒトノミなどがいて全てがネコにつきます。ただし、ノミにも好みがあるようで、ネコにふつうに見られるのは、やはりネコノミです。

ところで、ノミは不潔なだけでなく、病気の運び屋や、血を吸うときにだす唾液でアレルギー性皮膚炎を起こす原因にもなります。

では、退治方法をご紹介します。

すぐにできるのは、手やノミ取りグシを使う方法ですが、容易ではありません。

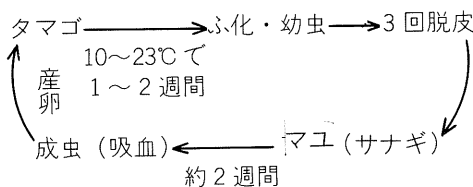
ノミ取り用や、刺激の少ないシャンプーで洗うのが安全で良い方法です。ノミは窒息しますので、ほぼ完全に退治できます。しかし、シャンプーのきれいなネコには不向きです。

手間のかからないものでは、殺虫成分をしみこませたノミ取り首輪や、ノミ取り粉、スプレー、飲み薬があります。これらは薬によるアレルギーや副作用に注意が必要です。動物病院で相談して、ネコにあったものを選ぶようにします。

いずれにせよ、これらは成虫の退治方法です。ノミは、200~400個の卵を産み、地面や床で孵化し、幼虫、さなぎ、成虫と育てて1年以上血を吸わずにネコなどがくるのを待つことができます。部屋の掃除をこまめにすることも大切です。

高温多湿の日本では、ノミに悩まされるネコやヒトは多いはず。ネコが好きで好きでしようがない方、また、そうでない方も、ノミには気をつけましょうね。

ノミの一生



仔ネコを拾ったのですが、どうやって育てたら良いのでしょうか。西 聡(7才)

小さいうちは、ミルクを飲ませます。ネコ用のミルクと哺乳ピンは市販されていますので、これを利用すると良いでしょう。

牛乳3:ぬるま湯1の割合にうすめて与え、元気に育った例もありますが、牛乳は、成分や消化力の違いで、下痢をおこしやすいので注意が必要です。栄養の整った、ネコ用ミルクを利用するのが無難でしょう。

ミルクは、生まれて間もないようであれば、約3時間おきに与えます。哺乳ピンがなければ、細長く丸めたガーゼにしみこませ、口の中に入れてやります。哺乳の間隔は日にちとともに少しづつ延ばしてかまいません。

目が開いて3週間もしたころ離乳食を用意します。缶詰のキャットフードにお湯を少し加え、良くほぐして与えてください。鼻先に近づけても食べないときは、口の中に入れてやると覚えます。しばらくは、ミルクも飲めるようにしておきます。

乳飲み子のころは、うんちやおしっこは自分ではできません。ぬるま湯でしめらせたティッシュでお尻の穴あたりをかるくこするなど、刺激を与えて排泄させてください。

歩けるようになったらトイレと砂を用意します。排便後のうんちを入れ良く臭いをかがせるとすぐに覚えます。ネコはきれい好きで、トイレがきたないと違うところでしてしまうので常にきれいにしておきましょう。

さいごに、運良く拾われたネコは幸せですが、捨てネコは不幸な運命をたどることの多いことをつけ加えておきます。

いろいろな哺乳器



このコーナーでは皆様からの質問をお待ちしています。
ハガキで動物園までお寄せ下さい。

ア・ラ・カルト

やさしい仔ヤギ

へび 級

「メー！ メー！ メー！」
子ども動物園のヤギ舎で、仔ヤギたちがたたくましく鳴いている。

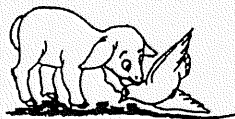
何かと様子を見に行ったら、ヤギ舎のコンクリートの床の上で、一羽のハトが脚と翼を痛めてもがいていた。はばたいても飛ばず、歩こうとしても起き上がれない。

驚いたことに、ハトのそばへ生後十日くらいの二匹の仔ヤギが付き添っていて、鼻面で押して立たせようとしたり、ハトの体をなめてやったり、まるで介抱でもしているかのよう。

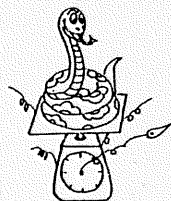
「よしよし、わかったヨ」

ハトはさっそく保護され、治療のために獣医室へ連れていかれた。お客さんの話では、カラスにつつきまわされていたそうだ。

一部始終を見ていた四～五才の女の子が「お母さん。あのヤギさんやさしいね」と母親へ語りかけたのがほほえましかった。



子ども動物園の「動物ふれあいコーナー」最大の目玉はインドニシキヘビ、このへびは水戸市の動物愛好家の方から贈られたもので、よく人に慣れている1匹を、公開するや、たちまち子ども動物園の人気者になった。へび嫌いのお客さんも、このインドニシキヘビに触れると、認識を新たにするようだ。ただ、寄贈された当時は体長1メートルぐらいだったが、今や体長4メートル、体重30キログラムを越す大蛇に成長。こうなると取り扱育係の負担が大変。檻への出し入れと運搬だけでも、動悸、息切れ、ギックリ腰というありさま。このため、最近では小型のボールニシキヘビをピンチヒッターに使用することが多くなったが、遠足のシーズンになると先生達から「大きなへびを出してくれ」と注文が殺到する。おかげで職員は「このへびは、へび級だ！」とボヤきながら「赤mamシドリンク」でも持って来てくれ」と言って、奮闘の毎日。



WWF Japanからのお知らせ

WWFは、世界の476万の人々に支持されている、民間の自然保護団体です。その各国委員会のひとつであるWWF Japan（世界自然保護基金日本委員会）は、自然環境を守り、野生の動植物を救うために資金を集めています。

みなさんも、同じ地球にいる仲間として、ぜひWWF Japanの事業に協力しませんか。

協力の方法

1. 会員になる。会員になると会員証、パンダのバッジと機関誌が送られてきます年会費は、
 - Jr レジャー会員(中学生まで) 1,500円

- レジャー会員 (20歳まで) 3,000円
- 一般会員 5,000円 10,000円 15,000円 30,000円 60,000円

2. 寄付をする。
 3. 募金に協力する。
- ☆みなさんの会費や、募金は、日本国内だけでなく、世界の動植物を救うために使われます。

➡ 入会や寄付に関するお問い合わせは下記まで
 ☎105 東京都港区芝3-1-14
 日本生命赤羽橋ビル6F
 (財)世界自然保護基金日本委員会
 業務室 ☎03-3769-1712

告知板

◎行事案内

1. 動物ふれあい広場 常時開催(雨天中止)
 2. 正月まつり えとの置物プレゼント
- * 休園日
12月29、30、31日及び元日

飼育動物点数(平成4年10月31日現在)

哺乳類	53種	386点
鳥類	56種	236点
爬虫類	7種	40点
合計	116種	662点

ZOOかみね

編集 日立市かみね動物園

日立市宮田町5-2-22 ☎0294(22)5586 (FAX兼)

発行 (財)日立市公園協会

日立市宮田町5-2-22 ☎0294(22)4737

発行日 1992. 11. 30

発行人 及川 浩



さくら

春はお花見、県内で有数の桜の名所

春



夏

レジャーランド

メルヘンの世界 “あんどんまつり”

かみね公園は一年中楽しめます！！



遊園地

行楽の秋 お弁当もってピクニック！！

秋



冬

プール・ホリゾン

夏はもちろん、冬でも泳げる温水プール！！
寒い冬はホリゾンかみねで

お風呂やサウナ！！

※休園日：4月、8月を除く毎週月曜日(詳しくはお電話で!!)

財団法人 日立市公園協会

レジャーランド……(0294)22-4737

遊園地……(0294)23-1515

〒317 日立市宮田町5-2-22

TEL (0294) 22-4737(代)

市民プール……(0294)23-3045

ホリゾンかみね……(0294)22-2045

日立観光テレフォンサービス TEL (0294) 24-1000